

## 平成24年度 埼玉県内の家庭用LPガス事故の概要

(平成24年11月末現在)

### ① 平成24年度のLPガス事故の内訳

漏えい	2件、死者 0名、負傷者 0名
漏えい爆発・火災など	3件、死者 0名、負傷者 1名
中毒、酸欠など	0件、死者 0名、負傷者 0名
合計	5件、死者 0名、負傷者 1名

### ② 原因者

販売事業者	2件
消費者	2件
調査中	1件
合計	5件

### ③ 供給販売事業所の所属支部：深谷支部、東松山支部、西武支部、川越支部、北東武支部

番号	発生場所 発生年月日 原因者 (所属支部)	災害現象別 被害状況	事故概要
1	深谷市 H24.5.19 販売事業者 (深谷支部)	漏えい 負傷者なし	<p>小学校に立ち寄った来校者がガス臭を感じ、小学校職員が消防に通報した後、販売店社員が、現地を確認したところ、高圧ホースの繋ぎ目より蟹泡程度のガス漏れを確認した。高圧ホースは、すぐ交換された。</p> <p>原因は、ホースの劣化又は接続が緩かったためと思われる。</p> <p>対策：容器交換及び容器交換時等点検の確実な実施、期限管理の徹底。</p>
2	坂戸市 H24.6.8 販売事業者 (東松山支部)	漏えい 負傷者なし	<p>消費者より「ガス臭い」との通報を受け、販売店社員が現地を確認したが、漏えい検知液で点検するも漏えい箇所の特定ができず、明朝再検査する旨を伝え現場を離れた。</p> <p>同日、偶然現地に居合わせた他ガス会社のものが、消費者の依頼で容器周辺を確認したところ、容器の安全弁よりガスが吹いていたので、容器を外し移動させた。その連絡を受けた配送担当者が現地へ急行し、容器を交換した。</p> <p>原因は、容器の温度上昇防止措置が不十分であったため、温度上昇により容器間で液移動があり容器バルブ安全弁よりガスが漏えいしたと思われる。</p> <p>対策：LPガス安全委員会「容器間の液移動にご注意ください！」 <a href="http://www.lpg.or.jp/download/pdf/youkikan_idou.pdf">http://www.lpg.or.jp/download/pdf/youkikan_idou.pdf</a></p>
3	狭山市 H24.6.15 消費者 (西武支部)	漏えい爆発 負傷者なし	<p>消費者より、販売事業者に屋外式給湯付き風呂釜の異常燃焼の連絡が入り、販売事業者社員が現地に向かい、点検したところ、風呂釜の前面部に膨らみ損傷を確認した。風呂場でシャワーを使用していて、お湯になったかと思うとすぐに水になることが何度かあり、その後、台所でも使用していて、なかなかお湯にならず、再度お湯を出しているときに異常着火したとのこと。</p> <p>原因は、事故の発生状況から、使用時になんらかの不具合が生じ、点火しないところで繰り返し点火操作を行ったため、機器内部に未燃焼ガスが滞留し、異常燃焼に至ったものと推定される。メーカーが詳細に調査したが、器具に異常はみられなかった。</p> <p>対策：消費者への不適切使用防止の周知徹底。</p>

4	川越市 H24. 9. 10 消費者 (川越支部)	漏えい爆発 負傷者なし	<p>消費者から、販売事業者に風呂釜から爆発があったという連絡が入り、販売事業者社員が現地に急行し点検したところ、風呂釜の側面が外側へ膨らんで変形していた。メーカーへ点検調査を依頼したが、特に異常はなく原因の特定には至らなかった。また、風呂釜まで漏えい検査したが異常はなかった。</p> <p>原因は、事故の発生状況から、使用時になんらかの不具合が生じ、点火しないところで繰り返し点火操作を行ったため、機器内部に未燃焼ガスが滞留し、異常燃焼に至ったものと考えられる。</p> <p>対策：老朽化したガス器具の買換え促進、屋外設置型への移行。</p>
5	さいたま市 H24. 10. 27 調査中 (北東武支部)	漏えい爆発 負傷者 1 名	<p>消費者から事故の通報を受け、販売店社員が現地を確認したところ、小型湯沸器を使用中に火が上がり、使用者が顔と両手に軽いやけどを負ったということだった。</p> <p>湯沸器の使用者がシンク内で自動車部品を洗浄中、お湯の温度調節を高温から低温に変更した際に火が上がった。現場の配管、消費器具について漏えい検査したが異常はなかった。</p> <p>メーカーに機器の点検調査を依頼した。</p>

「LPGガス安全安心向上運動」 目標達成に向け、平成24年4月より平成27年3月まで3年間実施する。

実施目標 ① 死亡事故ゼロを目指す。

② 販売事業者に起因する事故ゼロを目指す。

③ 全体の事故件数をできる限り減少させる。(数値目標としては、直近5年間(H18~H22)の事故件数が平均約220件となっていることから、3年間で1/3以下にすることを旨とする。)

◆ 埼玉県では、過去5年間(H19~H23)に65件(年間平均13件)のLPGガス事故が発生していることから、3年間で1/3(年間4件)以下にすることを旨とする。(最終的には事故ゼロを目指す。)

	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	合計(5年間)	(年間平均)
事故件数	24件	13件	7件	10件	11件	65件	(13件)

販売事業所数を基にした事故発生率(1,203事業所)

・平成24年度の事故件数(11月末現在) : 5件 ⇒ 240事業所に1件の割合で事故が発生。

・過去5年間(H19~H23)の年間平均事故件数 : 13件 ⇒ 92事業所に1件の割合で事故が発生。